

柳井市公共交通網形成計画の達成状況の評価について

～「第 7 章 目標を達成するための施策」と「第 8 章 計画の達成状況の評価」～

基本の方針１ 市民だけでなく来訪者にもわかりやすく、使いたいと感じる公共交通網の形成

目標１ 市民の暮らしを支える持続可能な公共交通サービスの実現

事業 (第７章 目標を達成するための施策)	目標に対する達成度の評価・考察
【事業１－１】 都市間幹線の確保・維持	・利用者は減少傾向にあるが、ＪＲ山陽本線、防予フェリー、周防大島松山フェリー及び一部バス路線を都市間幹線として維持している。 ・今後も引き続き、関係自治体と事業者が連携し、利便性向上の取組を行う。
【事業１－２】 利用者が少なく、路線周辺に空白地が多いバス路線の代替交通への転換	・令和２年１０月から大島地区、令和４年１０月から伊陸地区及び阿月地区で乗合タクシー事業を開始したことにより、公共交通の利用不便区域が減少した。 ・残る公共交通の利用不便区域である柳井、新庄、余田及び伊保庄地区においては、同地区の「高齢者おでかけサポート事業」の申請・利用実績が全体の多くを占めていることから、高齢者の移動手段として活用され、公共交通の利用不便区域の解消に貢献していると考えられる。 ※「高齢者おでかけサポート」申請率 柳井：５３．３％、新庄：１３．４％、余田：３．４％、伊保庄：７．７％ 計７７．８％ 「高齢者おでかけサポート」利用率 柳井：５３．３％、新庄：１４．４％、余田：３．１％、伊保庄：７．９％ 計７８．７％
【事業１－３】 既存バス路線の経路再編及び市街地を循環する公共交通の導入の検討	・乗合バスについて、令和２年度以降の経路再編により、単独補助路線が４路線、みなし４条路線が７路線廃止される。これに影響を受ける地域には乗合タクシー事業を導入し、交通の手段を確保している。 ・バス及びタクシー事業者による市街地循環バスの導入について検討したが、深刻な運転手不足等により、実現していない。
【事業１－４】 乗継拠点の整備検討	・乗継拠点としてＪＲの３駅及び防長バスの待合所等の環境整備について、適切な維持管理は行っているが、大きな改善は実現していない。今後も関係事業者と検討を行う。 ・大島駅は、令和７年度に駅舎が改築される予定である。ただし、駅トイレが廃止されるため、市が、駅に隣接する市有地に公衆トイレを新たに設置する。（令和６年度事業）
【事業１－５】 離島航路の経営安定化	・欠損額縮小のため、経費の節減に努めているが、島民人口や利用者の減少により、収入も減少している。 ・引続き経費の削減に努めるとともに、民間団体等と協力し、イベント開催や情報発信を行う。

基本の方針 1 市民だけでなく来訪者にもわかりやすく、使いたいと感じる公共交通網の形成

目標 1 市民の暮らしを支える持続可能な公共交通サービスの実現

評価指標（第 8 章 計画の達成状況の評価）

内容	計画時現状値	目標値	実績値			
	令和 2 年度	令和 6 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
J R 乗車人員（柳井駅、柳井港駅、大島駅の合計）	1,063,026人 （平成30年度）	1,070,000人	867,945人 （令和2年度）	862,234人 （令和3年度）	907,162人 （令和4年度）	908,385人 （令和5年度）
公共交通の利用不便区域（※ 1）の人口割合	32.5% （平成27年）	27.0%	32.5% （令和3年10月1日）	28.4% （令和4年10月1日）	28.4% （令和5年10月1日）	28.4% （令和6年10月1日）
路線バスの維持にかかる市民一人あたりの市財政支出額（※ 2）	1,223 円/人 （令和元年度）	800円/人	1,523円/人 （令和2年度）	1,233円/人 （令和3年度）	1,235 円/人 （令和4年度）	1,106 円/人 （令和5年度）
【参考指標】予約制乗合タクシーの維持にかかる市民一人あたりの市財政支出額（※ 3）	—	—	20円/人 （令和2年度）	131円/人 （令和3年度）	149円/人 （令和4年度）	332円/人 （令和5年度）
新たな交通システム（予約制乗合タクシー）の収支率	34.1% （令和元年度）	40.0%	23.9% （令和3年度）	24.3% （令和4年度）	21.7% （令和5年度）	19.6% （令和6年度）
路線バス（みなし 4 条路線）及び新たな交通システム（予約制乗合タクシー）の利用者（合計）	29,465人 （令和元年度）	29,465人	22,830人 （令和2年度）	17,108人 （令和3年度）	17,126人 （令和4年度）	16,538人 （令和5年度）
平郡航路の輸送実績	24,234.5人 （令和元年度）	25,000人	15,302人 （令和3年度）	18,079人 （令和4年度）	18,618人 （令和5年度）	18,203人 （令和6年度）

※ 1 駅より800m圏、バス停より300m圏、バス自由乗降区間より300m圏、船着場より800m圏及び予約制乗合タクシーが運行する区域の全域を交通サービス圏内とし、その圏外の区域をいう。

※ 2 路線バス事業者への市補助額を国勢調査の人口で除した額 令和2年国勢調査：30,799人

※ 3 予約制乗合タクシーの運営団体への市補助額を国勢調査の人口で除した額

基本の方針1 市民だけでなく来訪者にもわかりやすく、使いたいと感じる公共交通網の形成

目標2 誰もが安全・安心・快適に利用できる環境の実現

事業 (第7章 目標を達成するための施策)	目標に対する達成度の評価・考察
【事業2-1】 車両や施設等のバリアフリー化の推進	・柳井駅のバリアフリー化が完了した。柳井港及び大畠の両駅についてもバリアフリー化の要望を継続して行う。 ・バスのバリアフリー対応車両への更新が進んできているが、路線廃止に伴いバリアフリー対応車両が減少し、実績値も減少した。
【事業2-2】 交通系ICカード導入の検討	・JR3駅や路線バスにおける交通系ICカード導入が完了した。
【事業2-3】 列車やバス等の走行位置情報の活用	・本市において、「JR西日本列車走行位置情報」及び「バスロケーションシステム」の認知度はまだ低いため、引き続き市民への周知、PRを行う。
【事業2-4】 主要なのりばにおける案内サインの整備	・交通結節点における分かりやすい路線図や時刻表の掲示等、交通事業者と協力し、さらなる改善に向けた協議を行う。
【事業2-5】 ターゲットを絞ったマップや時刻表等の情報提供媒体の整備	・柳井市公共交通総合時刻表を作成し、令和3年4月より市ホームページに掲載している。
【事業2-6】 路線バス、航路データの標準化の推進	・平郡航路については、経路検索サービスに反映済み。 ・路線バスについても整備が進み、近々、経路検索サービスに反映される予定

基本の方針1 市民だけでなく来訪者にもわかりやすく、使いたいと感じる公共交通網の形成

目標2 誰もが安全・安心・快適に利用できる環境の実現

評価指標（第8章 計画の達成状況の評価）

内容	計画時現状値	目標値	実績値			
	令和2年度	令和6年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
防長バス平生営業所管内を走るバスのバリアフリー化率	83.8% (令和元年11月末)	90.0%	82.1%	82.1%	79.3%	80.0%
バリアフリー化されたJR駅の数	0駅/3駅 (令和元年度)	1/3駅	1/3駅	1/3駅	1/3駅	1/3駅
交通系ICカードの利用できるJR駅の数	0駅/3駅 (令和元年度)	3/3駅	0/3駅	3/3駅	3/3駅	3/3駅

基本方針 2 公共交通への市民の理解や関心を高める取組の推進

目標 3 公共交通を守り育てる意識の醸成

事業 (第 7 章 目標を達成するための施策)	目標に対する達成度の評価・考察
【事業 3－1】 公共交通の乗り方教室の開催	・市内各小中学校において、電車やバスの乗り方の体験学習や修学旅行で公共交通機関を利用するなどして公共交通に関する教育を実施している。このため、市又は交通事業者が、独自で別の機会を設定し、乗り方教室等を実施するに至っていない。 ・今後も市内各小中学校における取組を支援するとともに、連携について検討する。
【事業 3－2】 モビリティ・マネジメントの実施	・柳井市役所は、ノーマイカーデー（月 2 回）を実施している。 引き続き、市内事業所や高校生等に柳井市の公共交通に係る情報提供、PRを行い、公共交通の利用促進に努める。

評価指標（第 8 章 計画の達成状況の評価）

内容	計画時現状値	目標値	実績値			
	令和 2 年度	令和 6 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
公共交通の乗り方教室の開催回数	0回	10回 ※ 5 年間の延べ数	0回	0回	0回	0回
モビリティ・マネジメント 実施事業所数	0事業所	10事業所 ※ 5 年間の延べ数	1事業所	1事業所	1事業所	1事業所

基本方針3 市民・事業者・行政・その他関係者が共に担い手の意識を持った移動手段の確保・維持

目標4 幅広い連携による移動手段の維持・確保

事業 (第7章 目標を達成するための施策)	目標に対する達成度の評価・考察
【事業4-1】 免許返納に合わせた公共交通 利用促進策	・免許返納者に対し、乗合タクシーや高齢者おでかけサポート事業等、公共交通に関する情報提供を実施してきた。 今後も有益な情報提供を行い、公共交通の利用促進を図る。
【事業4-2】 公共交通に携わる運行主体間の 連携強化（乗継ダイヤ調整など）	・鉄道とバスの接続について、適切なダイヤ調整等が行われてきたと考えている。 今後も交通事業者間のさらなる協力、連携により、接続の改善を図る。
【事業4-3】 スクールバスの活用の検討	・柳井市の公共交通におけるスクールバス活用の可能性について検討したが、実現には至らなかった。 今後もその可能性について、引き続き検討を行う。
【事業4-4】 国や県と連携した担い手確保 (イベント開催、支援策導入等)	・交通事業者の求人活動や国、県、市が開催した就職面接会等により、運転手の確保に努めてきた。 今後も公共交通の担い手を確保するために、国や県と連携し、さらなる支援を行う。
【事業4-5】 公共交通を活用した観光ルート の構築	・柳井につぼん晴れ街道協議会と柳井市観光協会の共催によるウォーキングイベントが実施されてきた。 引き続き、このイベントの実施とPRについて支援を行う。

評価指標（第8章 計画の達成状況の評価）

内容	計画時現状値	目標値	実績値			
	令和2年度	令和6年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
公共交通を活用した観光ルートの 考案数	0案	10案 ※5年間の延べ数	4案 延べ4案	5案 延べ9案	7案 延べ16案	6案 延べ22案